

和歌山下津港長期構想(案)に対するパブリックコメント結果について

募集期間：令和4年5月13日（金）から令和4年6月13日（月）まで

募集結果：3名（5件）

■産業・物流

内容	ご意見	対応
RORO貨物	<ul style="list-style-type: none">RORO船岸壁は将来のドライバー不足などの社会情勢を見据えた適切な計画だと考える。	<ul style="list-style-type: none">長期構想において、物流コストの削減等を目的に、RORO船や船舶大型化に対応する取り組みを位置付けている。引き続き、関係機関と連携し、長期構想の実現に取り組んでいく。
大型化	<ul style="list-style-type: none">和歌山下津港の位置的優位性を生かすためにも、船舶の大型化への対応などに係る施設整備は有効と考える。	

■交流・観光

内容	意見	対応
交流拠点の位置	<ul style="list-style-type: none">現行の港湾計画では薬種畑地区にて、交流拠点を位置付けていたが、長期構想では旅客など人流を扱う場所が薬種畑地区と西浜地区に分散されている。交流拠点は、旅客専用岸壁と旅客など人流を扱う背後地を一体として空間整備することが理想と考える。	<ul style="list-style-type: none">長期構想において、クルーズ船や中央卸売市場(道の駅として整備予定)など地域の観光資源との連携による交流空間の創出を位置付けている。まずは、クルーズ船の寄港回数を増加させるため、ポートセールスなどの取り組みを進めることとしており、旅客専用岸壁や背後地などの整備については、クルーズ船等の利用状況に応じて検討していく。

■安全・安心

内容	意見	対応
災害対策	<ul style="list-style-type: none">南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、災害時には拠点となるような港として整備に取り組んでもらいたい。	<ul style="list-style-type: none">長期構想において、大規模災害への備えとして、耐震強化岸壁の整備等について、位置付けている。引き続き、関係機関と連携し、長期構想の実現に取り組んでいく。

■全体・その他

内容	意見	対応
ENEOS関連	<ul style="list-style-type: none">ENEOSの撤退は県経済、有田市の雇用が心配されるため、港湾としての立地を生かした新たな企業誘致や事業展開に期待する。	<ul style="list-style-type: none">「和歌山製油所エリアの今後の在り方に関する検討会」の結果を踏まえて、所要の措置を講じていく。